M－③　2-1
初版：2023年8月1日
改訂：　　－

FULL HEIGHT DOOR®

INSET MODE　インセット枠
フルハイトドア®

施工手順書①-3

木　工　事

インセット枠仕様

壁石膏ボード12.5mm対応

ステルス枠/インセット枠　施工手順書一覧

共　　通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※マルコシリーズの2·3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事
- ①-1.ステルス枠・標準仕様 ／ ①-2.ステルス枠・準耐火仕様
- ①-3.インセット枠仕様

②クロス・塗り壁工事
(ステルス枠・インセット枠共通)

③扉・金物の取付
(ステルス枠・インセット枠共通)
- ③-１．片開き戸、親子戸
- ③-２．片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、２枚引違い戸(上吊)
- ③-３．２・３枚引込み戸(上吊・連動)、３枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
- ③-４．片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット
- ④-１．折れ戸　④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸
- ④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア
- ⑤-１．片引き戸(上吊)　⑤-２．片開き戸

⑥ヴェトロ
- ⑥-１．アウトセット片引き戸(上吊)　⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル
- ⑦-１．スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット

⑧マルコ
- ⑧-１．3枚引込み戸(上吊・非連動)　⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット
- ⑨-１．スイング戸　⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸

kamiya

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。

○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

Ikamiya Full Height Door

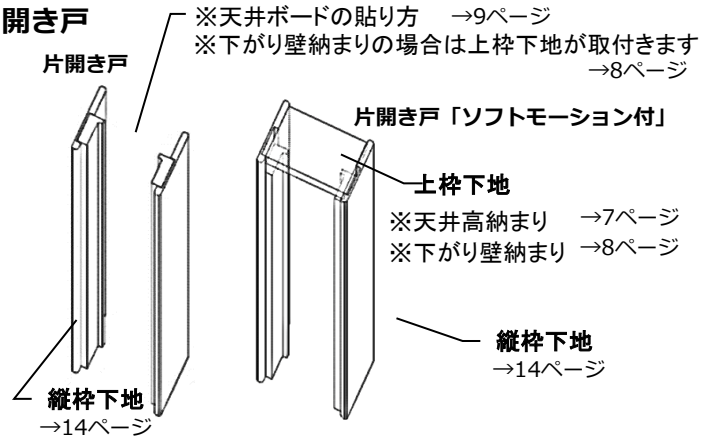
□インセット枠の部材名称

【共通事項】

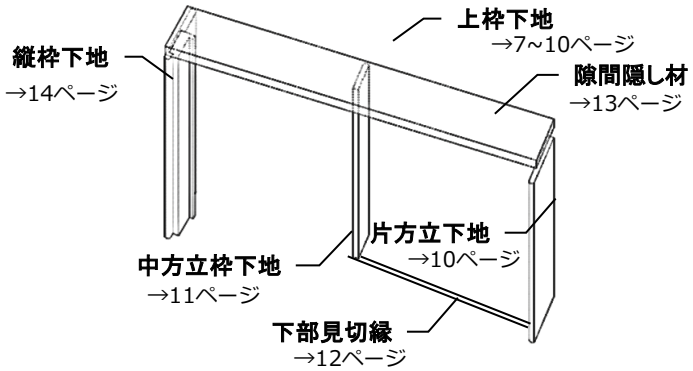
各部材は全てプレカットで納品されます。
5ページの「開口部の確認」を参照ください。
現場でカットされる場合は、別途レール・扉を
注文する必要がございます。

※2023vol2カタログより、引き戸(上吊)上枠下地は
「縦枠勝ち納まり」から「上枠勝ち納まり」へ変更になり、
上枠長さはw下地枠外寸法で納品されます。

開き戸

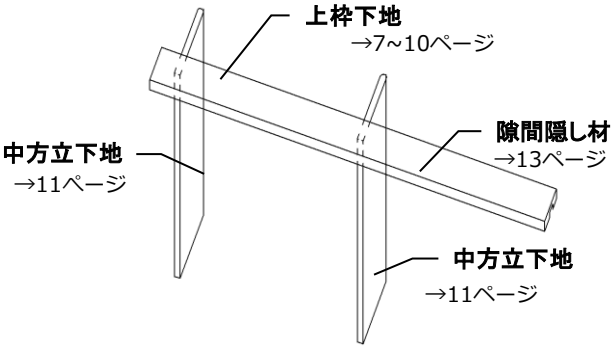


片引き戸、2・3枚引込み戸(上吊)



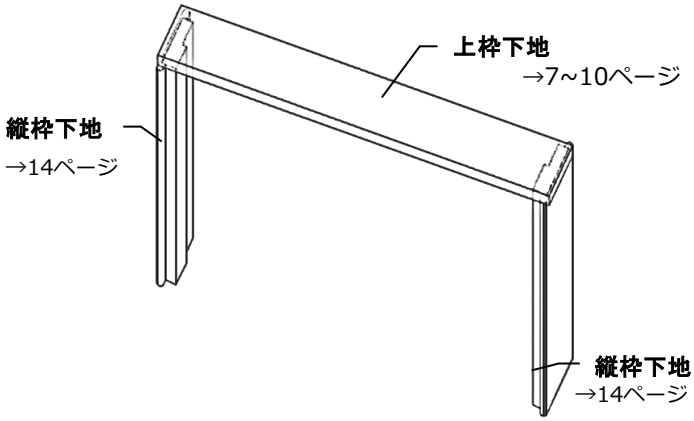
※小壁の木下地→12ページ

アウトセット片引き戸・エンド枠無し(上吊)

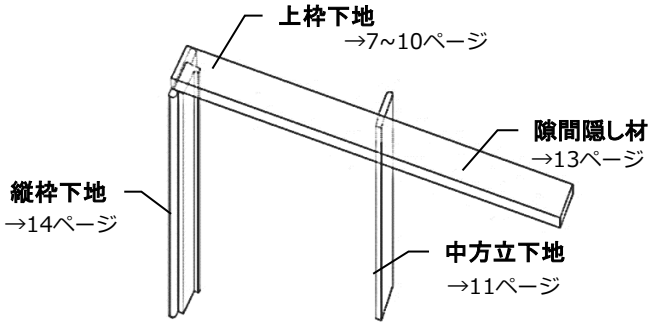


※小壁の木下地→12ページ

2枚引違い戸(上吊)

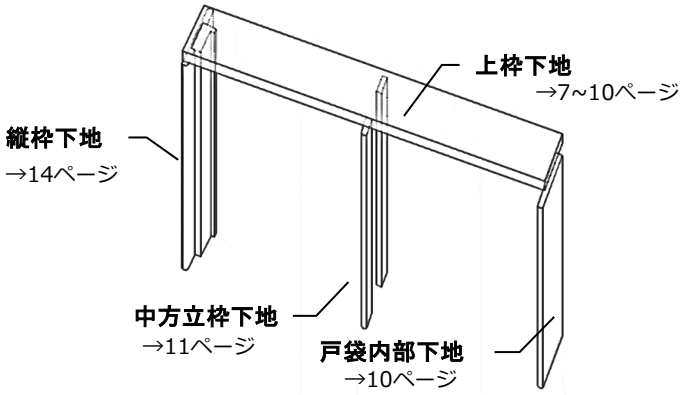


アウトセット片引き戸・エンド枠付き(上吊)

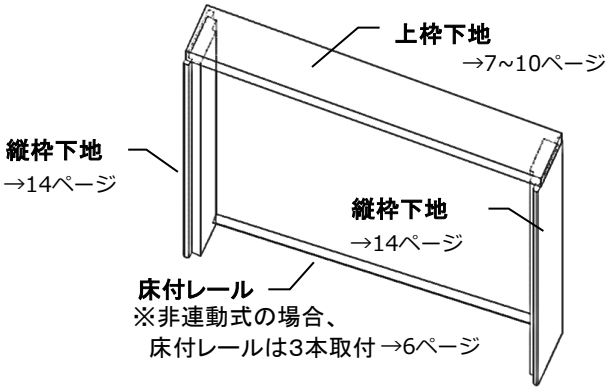


※小壁の木下地→12ページ

引込みポケット戸(上吊)



3枚引違い戸(上吊)連動式

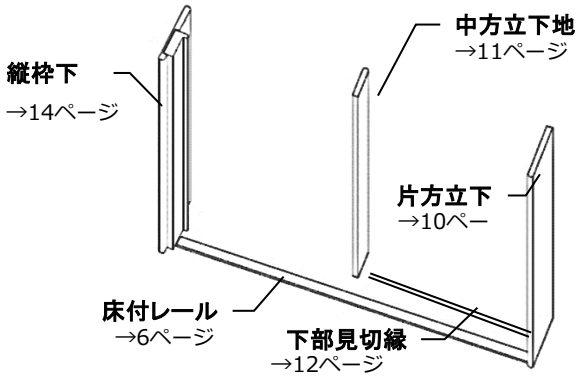


□インセット枠の部材名称

forインセット

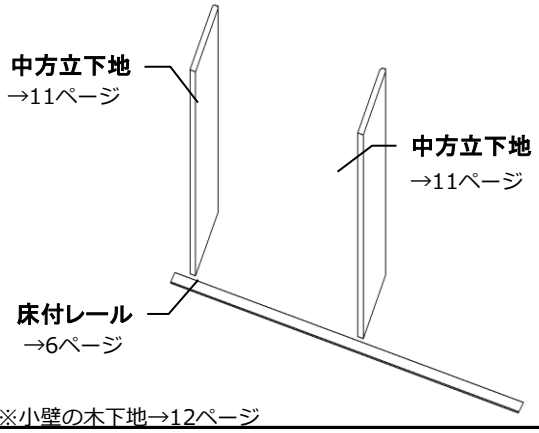
施工手順書2023/8初版

片引き戸(床付レール)



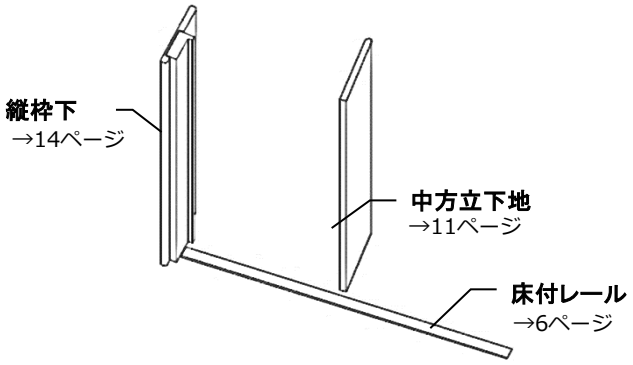
※小壁の木下地→12ページ

アウトセット片引き戸・エンド枠無し(床付レール)



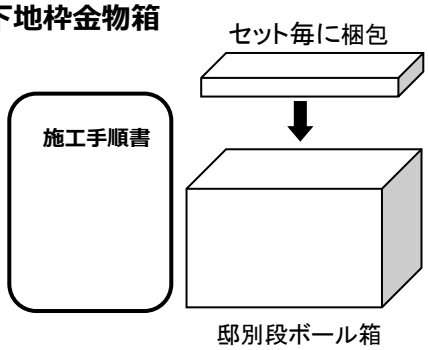
※小壁の木下地→12ページ

アウトセット片引き戸・エンド枠付き(床付レール)



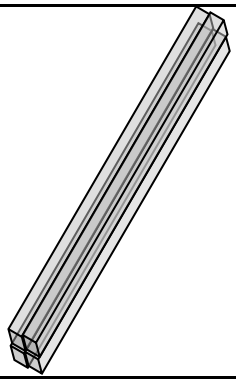
※小壁の木下地→12ページ

下地枠金物箱



上部吊車セット等

※内容につきましては別冊「扉・金物の取付」を参照ください。

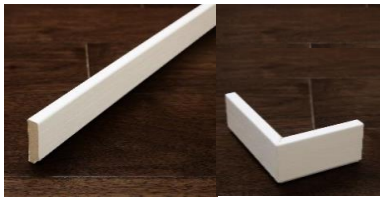


●レール
セット毎に邸別梱包

※内容につきましては
別冊「扉・金物の取付」を参照ください。

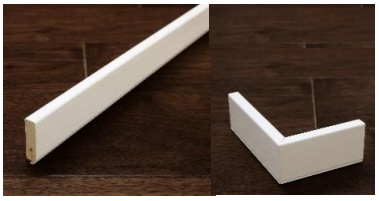
シンプル巾木　厚み7mm×高さ30mm×長さ2700mm(ステルス枠推奨巾木) →16ページ

※下記３タイプの設定がございますのでご注文時に選択してください。



シンプル巾木とコーナー役物

溝付シンプル巾木とコーナー役物



クッション巾木とコーナー役物

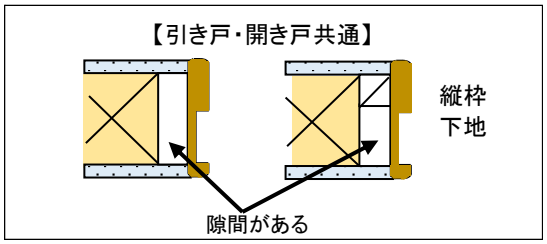
□開口部の確認

forインセット

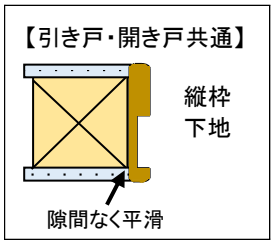
施工手順書2023/8初版

開口部(躯体側木下地)の確認　　共　通

下地枠を取り付ける前に、躯体側に木下地が隙間なく平滑に入っているか確認をしてください。

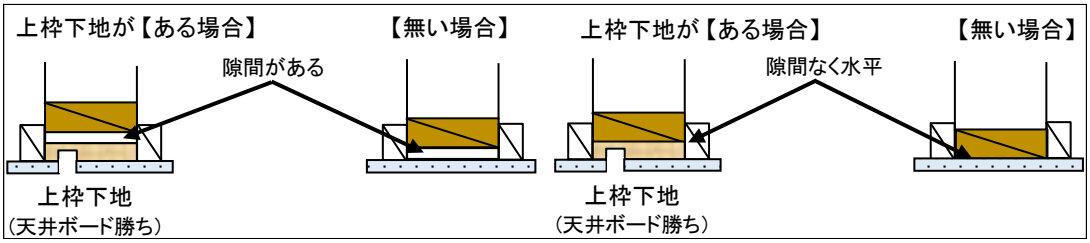


×



○

下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。



×　　○

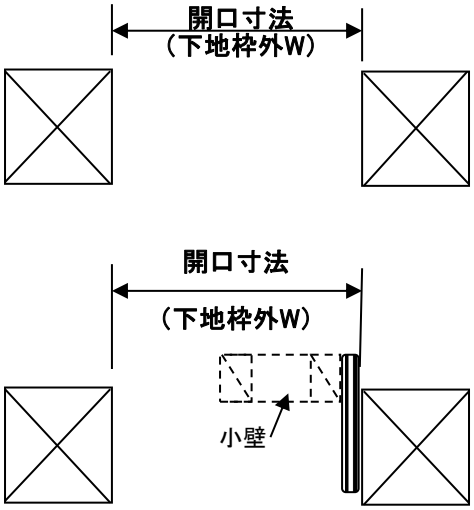
ポイント

※躯体側の木下地（柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

※上枠下地が無い納まりの場合でもクロスのヨレ・ヒビを防ぐために木下地は隙間なく平滑に入れてください。

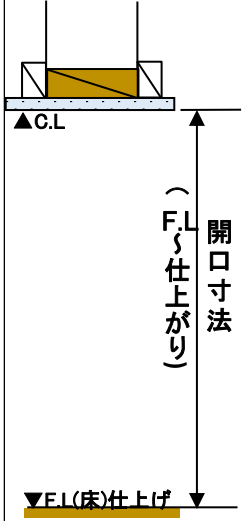
開口部(寸法)の確認　　共　通

下地枠を取り付ける前に、開口部の巾・高さ寸法を確認してください。



【巾寸法】
開口寸法（＝下地枠外W）

【高さ寸法】
上枠下地がある場合



【高さ寸法】
上枠下地が無い場合

ポイント

※開口寸法は邸別の納まり図でご確認ください。

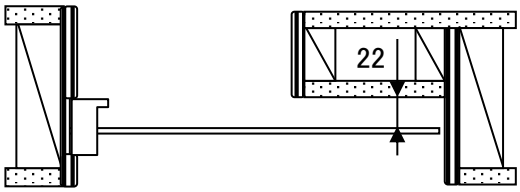
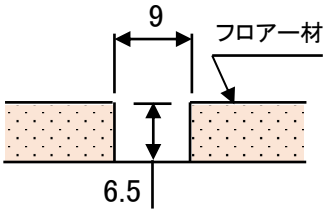
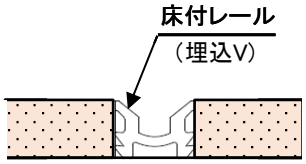
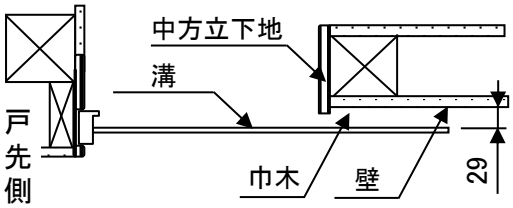
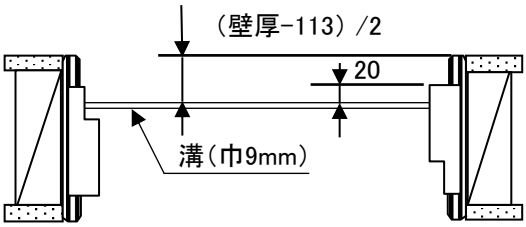
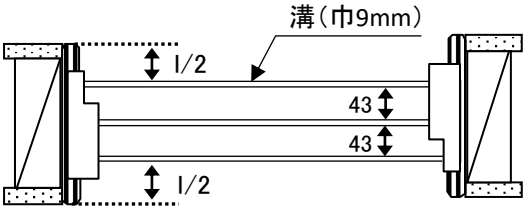
※納まり図の高さ寸法はF.L(床仕上げ面)からの寸法となっているので注意してください。

□床付レール

forインセット

施工手順書2023/8初版

床付レール（埋込Ｖタイプ）を取付ける場合の床溝加工位置

片引き戸 床付レール(埋込Ｖ)	 ボード面からの寸法となります	 
アウトセット 片引き戸エンド枠付き 床付レール(埋込Ｖ)	 ボード面からの寸法となります	
３枚引違い戸 (上吊+連動タイプ) 床付レール(埋込Ｖ)		**溝加工寸法は巾9mm×深さ6.5mm** 床付レール（埋込Ｖ）がきつく入らなかったり、緩くて外れてしまわないように加工寸法を守ってください。 ※本表は床付レール（埋込Ｖ）の場合を示します。 ※床付レール（面付）は床仕上げの上から同梱のビスで取付けます。
３枚引違い戸 (上吊+非連動タイプ) 床付レール(埋込Ｖ)		

ポイント	**※床付レールは（埋込Ｖ）と（面付）の２タイプをご注文時に選択できます。** **※床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝は、縦枠面から縦枠面までとしてください。** **※２枚引違い戸(上吊)は床付ガイド納まりが標準設定のため、床付レールは取付きません。**

□上枠下地の取付【天井高納まり】

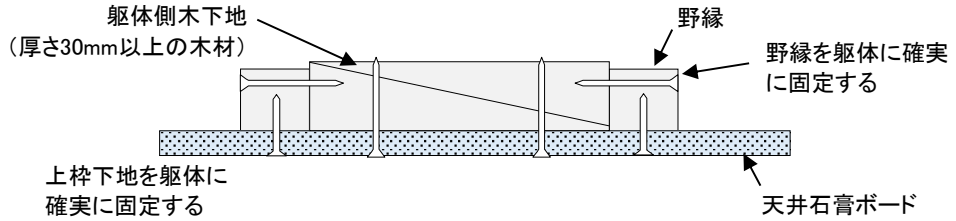
forインセット

施工手順書2023/8初版

片開き戸、引き戸(床付レール)

【片開き戸、引き戸(床付レール)・標準仕様】

上枠下地(神谷支給品)はありませんので、天井石膏ボードを張り伸ばしてください。



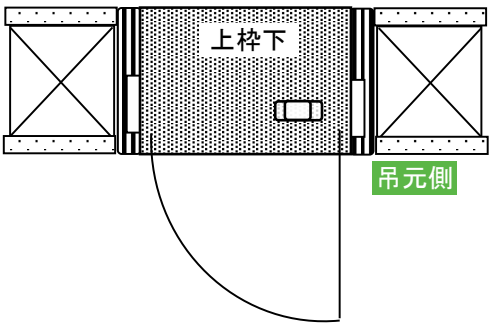
上枠下地が取付かない場合の天井ボードの貼り方(後頁9ページ参照)

【片開き戸・OPソフトモーション付/標準】

天井に金物が取付くため、上枠下地が取付きます。

【注意】

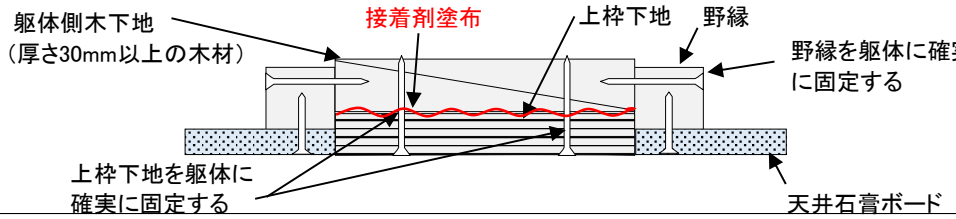
縦枠勝ち、上枠下地負けで納めます。



「ソフトモーション付」の場合は、上枠下地の向きを確認してください。

上枠下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体側木下地に固定します。(縦枠下地勝ち)

その際、上枠下地の裏側には30㎜以上の木材を入れてください。



天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。
しっかり固定されていないと、クロスのヒビ、ヨレ、塗り壁のヒビの原因となります。

引き戸(上吊)

上枠下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体側木下地に固定します。

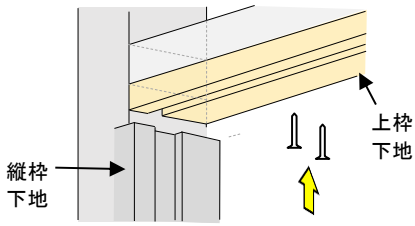
その際、上枠下地の裏側には30㎜以上の木材を入れてください。

【注意】

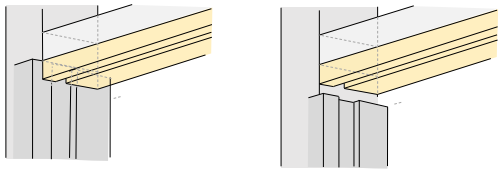
縦枠負け、上枠下地勝ちで納めます。

【注意】

扉(40kg/枚)を吊り込んだ時に上枠が垂れ下がらないように固定してください。

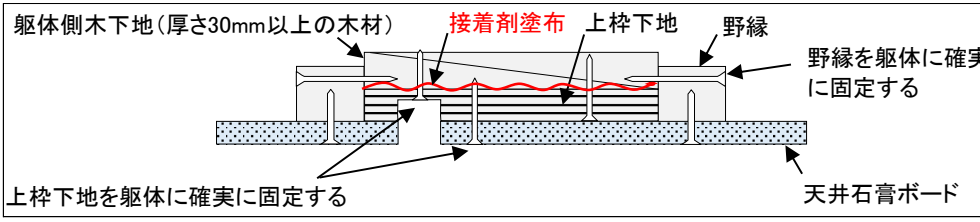


上枠下地を取付けた後、天井石膏ボードを貼り、縦枠下地を取り付け(後頁15,16ページ参照)ます。



【縦枠勝ち】 → 【上枠勝ち】

※2023vol2カタログより、引き戸(上吊)上枠下地は「縦枠勝ち納まり」から「**上枠勝ち納まり**」**へ変更**になり、上枠長さはw下地枠外寸法で納品されます。



天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。
しっかり固定されていないと、クロスのヒビ、ヨレ、塗り壁のヒビの原因となります。

ポイント

※上枠下地の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、下穴を空け、レールビスと干渉しない位置てビス留めしてください。

※上枠下地枠取付後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

※上枠下地の裏側には、必ず30㎜以上の木材を入れてください。

□上枠下地の取付【下がり壁納まり】

forインセット

施工手順書2023/8初版

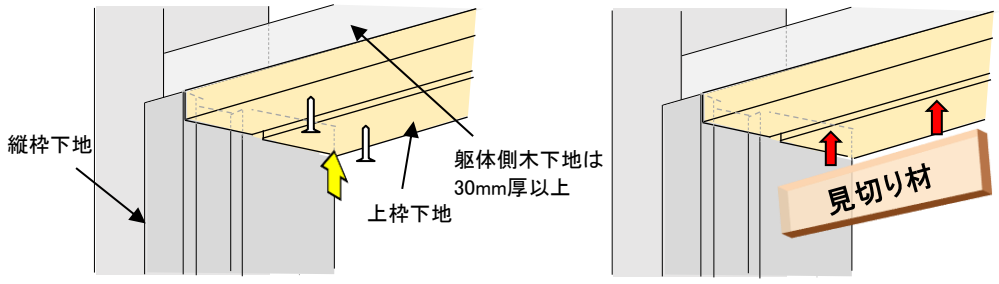
片開き戸

上枠下地に接着剤を塗布し、ビス(現場手配品)で躯体側木下地に固定します。
クロスを貼った後に、クロスを溝に巻き込み、見切り材を挿し込んでください。

※躯体側木下地の厚みは30mm以上としてください。

【注意】

縦枠勝ち、上枠下地負けで納めます。



上枠下地の長さは**w下地枠内寸法で納品**されますので、**縦枠下地勝ち**、上枠下地負けで納めます。

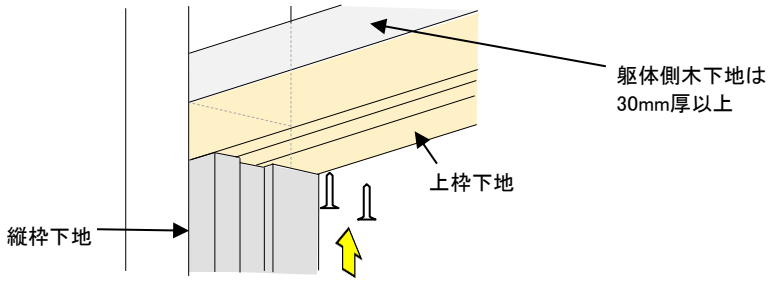
引き戸(上吊)

上枠下地に接着剤を塗布し、ビス(現場手配品)で躯体側木下地に固定します。

※躯体側木下地の厚みは30mm以上としてください。

【注意】

縦枠負け、上枠下地勝ちで納めます



上枠下地の長さは**w下地枠外寸法で納品**されますので、縦枠下地負け、**上枠下地勝ち**で納めます。

ポイント

※上枠下地の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、下穴を空け、レールビスと干渉しない位置てビス留めしてください。
※上枠下地枠取付後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。
※上枠下地の裏側には、必ず30㎜以上の木材を入れてください。

□天井ボードの貼り方、上枠下地取付時の注意点

forインセット

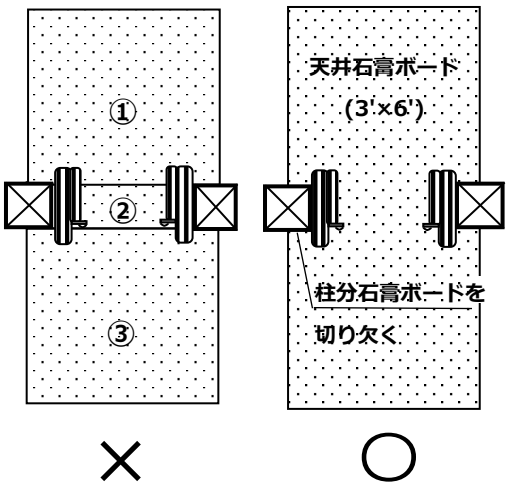
施工手順書2023/8初版

注 上枠下地が取付かない場合の天井ボードの貼り方

開き戸・引き戸(床付レール)共通

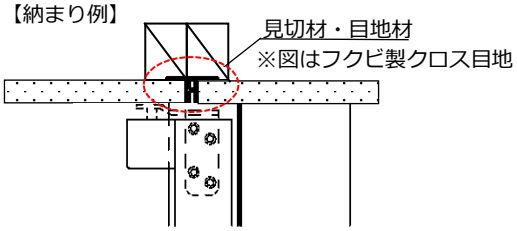
クロスよれの原因となりますので開口上部の天井石膏ボードの貼り方には注意が必要です。

※特に開口部直上に梁があり、右図ボード②を梁に直接留め付け、右図ボード①③を際野縁に留め付ける場合、動きが出やすくなります。



天井の石膏ボードは開口部でのジョイントを避ける

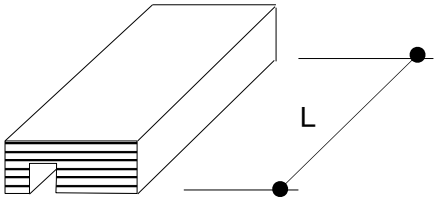
【納まり例】



天井の石膏ボードにジョイントができる場合は、目地材・見切材を使用するのが有効です

注 引き戸(上吊)の上枠下地の長さ

上枠下地の長さについて

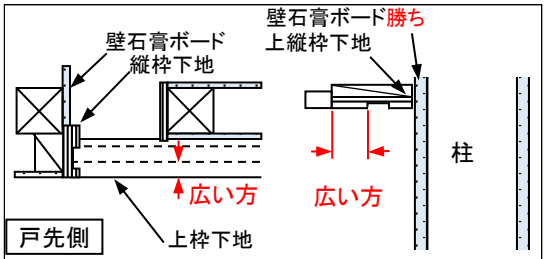


※L＝2421mm以上の場合は、２分割で納品

※上枠下地の長さはw下地枠外寸法で納品

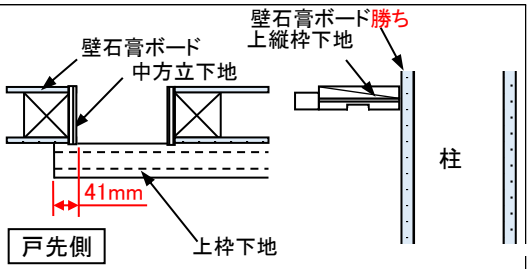
注 アウトセット片引き戸(上吊)の上枠下地の取付向きと取付位置

アウトセット片引き戸の上枠下地の取付向きと取付位置について



【アウトセット片引き戸エンド枠付きの場合】

上枠下地の向きに注意(広い方が外側)



【アウトセット片引き戸エンド枠無しの場合】

上枠下地の位置に注意(中方立下地内から41mm)

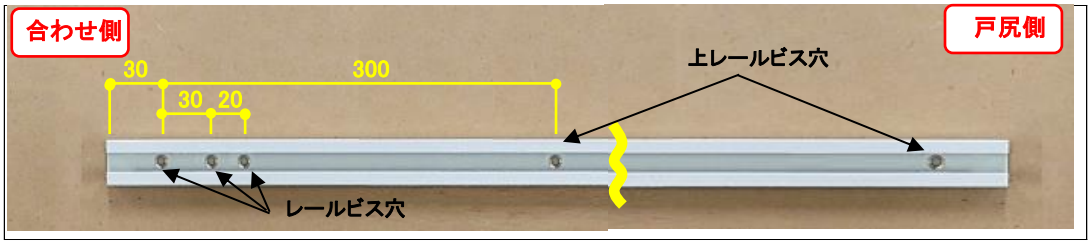
ポイント

※アウトセット片引き戸の上枠は壁石膏ボード勝ちで納めます。

□上枠下地取付後の注意点

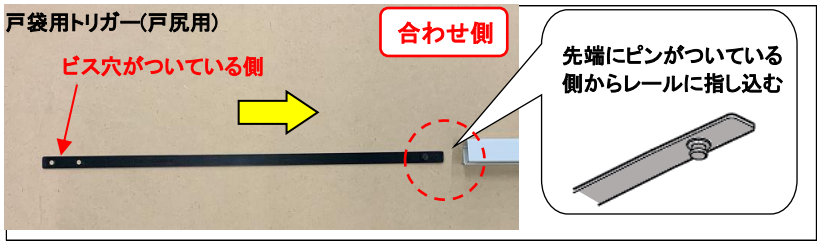
注 ポケット戸：戸袋側の上レールは小壁を立てる前に取り付けて下さい！

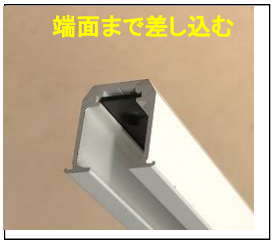
小壁を立てる前に必ず戸袋用上レール【戸尻側】を取付けてください。その際、取付向きを確認して付属の上レール取付ビスで固定してください。



小壁を立てる前に戸袋用上レール【戸尻側】を向きを確認し、取付ける
※戸袋用上レール裏面の「戸尻側」「合わせ側」のシールを確認
※戸袋用上レール【戸尻側】の長さは DW-2mm

次に戸袋用トリガー(戸尻用)のビス穴がついている側を手に持ち、先端にピンがついている側から戸袋用レール【戸尻側】内に差し込み、合わせ側の端面まで差し込んでください。この時点でトリガーのビス留めはしないでください。





戸袋用トリガー(戸尻用)を戸袋用上レール【戸尻側】に差し込む
※**長い**トリガーが戸袋用トリガー**(戸尻用)**

戸袋用トリガー(戸尻用)を合わせ側の端面まで差込む

ポイント

※レール内にゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。
※ソフトクローザーの誤作動の原因となりますので、下記２点に注意してください。
・上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りが無いように注意してください。
・戸袋用レール【戸尻側】と【戸先側】の合わせ面にズレや段差できないようにに取付けてください。
※小壁施工後に戸袋用トリガー(戸尻用)を取り付ける際は、ドライバーの軸長さは１００mm以上のものをご使用ください。
（ドライバーの軸長が短いとビス頭が斜めに取り付けられてソフトクローザーが干渉し、破損の原因となります。）

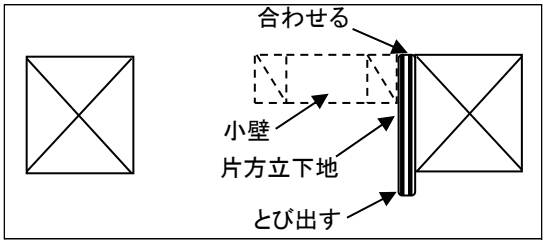
□片方立下地、戸袋内部下地

片方立下地、戸袋内部下地の取付 **片引き戸、ポケット戸、2･3枚引込み戸**

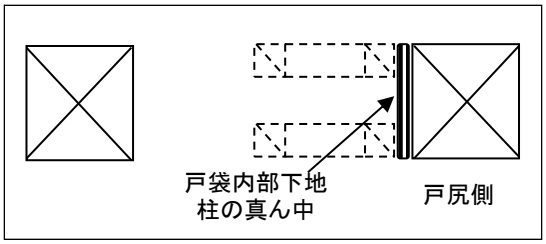
片方立下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。

片方立下地裏面に接着剤全面塗布(推奨：酢ビ系)

下地表よりビス固定



片方立下地の取付位置



ポイント

※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス留めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□中方立下地

forインセット

施工手順書2023/8初版

中方立下地の取付　　片引き戸、アウトセット片引き戸、ポケット戸

【共通】
中方立下地の取付は接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体に固定します。

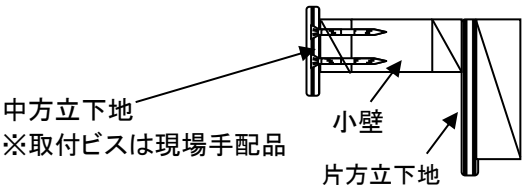
中方立下地裏面に接着剤全面塗布(推奨：酢ビ系)

小壁を立てて中方立下地を取付

調整ビス頭の飛び出し
×

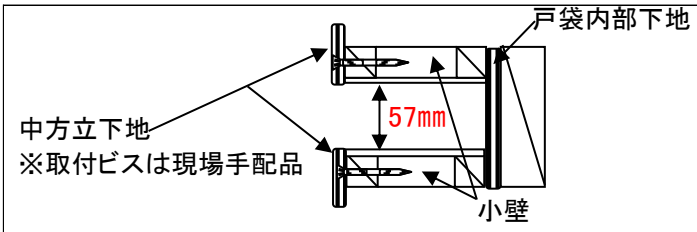
○

【片引き戸】
小壁を立てて中方立下地を取り付けます。

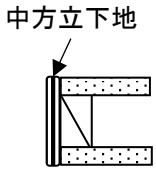


【片引き戸の場合】　・小壁を立てて中方立下地の取付

【ポケット戸】
手前と奥の小壁の段差はありません。

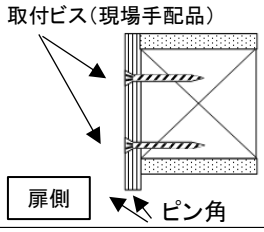


【ポケット戸の場合】　小壁間は57mm以上を確保

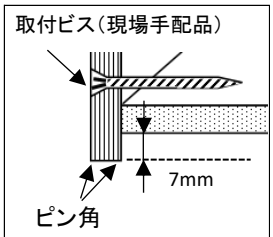


中方立下地＝小壁厚
壁厚よりチリはでない

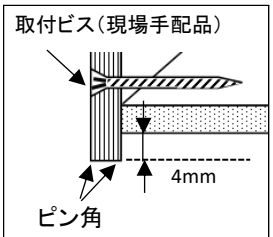
【ｱｳﾄｾｯﾄ片引き戸】
壁厚に対して扉側に7㎜（塗り壁時4㎜）のチリが出ます。



【ｱｳﾄｾｯﾄ片引き戸の場合】　・チリが出る側(扉側)にピン角を向ける



【クロス貼り仕上の場合】
壁厚より7㎜チリが出る



【塗り壁仕上の場合】
壁厚より4㎜チリが出る

ポイント

※中方立下地は、床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです。
※下地枠の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス留めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□小壁に必要な木下地、下部見切縁

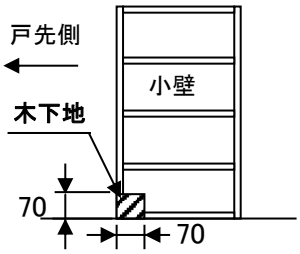
forインセット

施工手順書2023/8初版

注 小壁の所定位置に「別途木下地」の取付が必要な場合

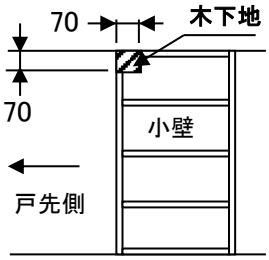
・2枚引き込み戸
・3枚引き込み戸

中方立下地側の小壁**下端**に70mm四方の木下地を取付
(後に専用の壁付ガイド金物が取付きます)



・片引き戸(床付レール)
・アウトセット
片引き戸(床付レール)

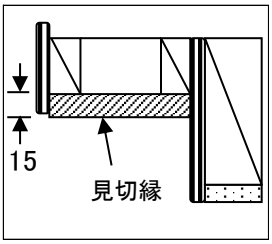
中方立下地側の小壁上端に70mm四方の木下地を取付
(後に専用金物のガイドピースが取付きます)



「別途木下地」：中方立下地を取付る木下地以外で金物を取り付けるために必要な木下地。

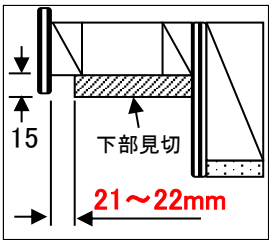
下部見切縁の取付　　片引き戸(上吊)(床付レール)

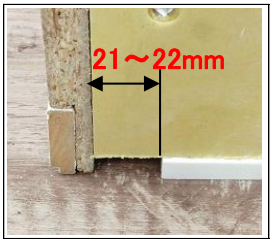
小壁に沿わせて下部見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用で取付けます。



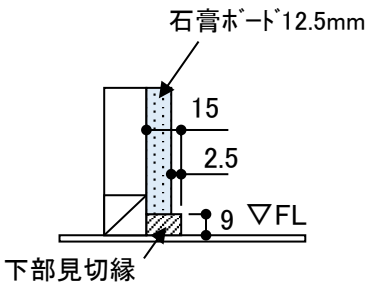
【床付ガイドの場合】
中方立下地に突き付けて取付

下部見切縁の15㎜の面に石膏ボードを乗せてください
※石膏ボードは、12.5㎜の設定なので2.5㎜のチリが出ます。





【壁付ガイドの場合】
中方立下地から空けて取付



石膏ボードは、12.5㎜の設定なので2.5㎜のチリ

ポイント

※引き戸(上吊)の場合、
床付ガイドが標準：片引き戸、アウトセット片引き戸、２枚引き違い戸
※床付ガイドが標準設定品です。壁付ガイドは別売品ですので別途ご注文ください。

□隙間隠し材

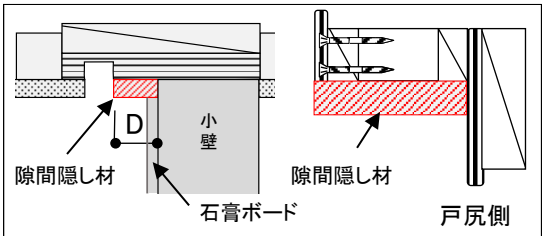
forインセット

施工手順書2023/8初版

隙間隠し材の取付【天井高納まり・天井ボード勝ち納まり】

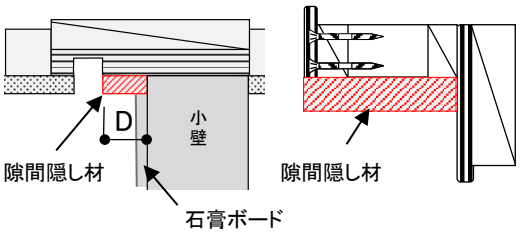
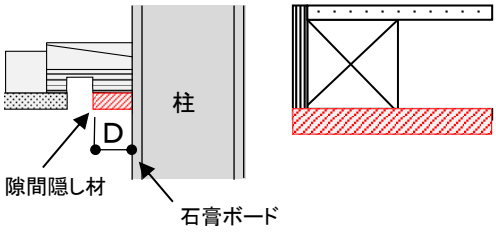
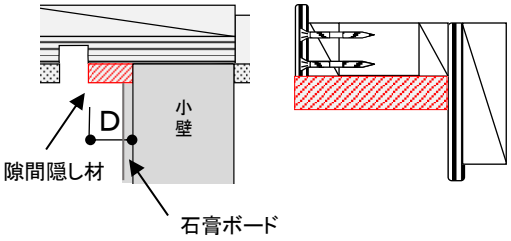
引き戸(上吊)

上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸にカットして取付てください。



上枠下地のレール溝と小壁の間に
隙間隠し材を取りつける

隙間隠し材の寸法一覧

開閉様式別		クロス仕上げ	塗り壁仕上げ
片引き戸		D=28mm	D=31mm
アウトセット片引き戸		D=22.5mm	左記と同じ
2・3枚引込み戸		D=33mm	D=36mm

ポイント	

□縦枠下地

forインセット

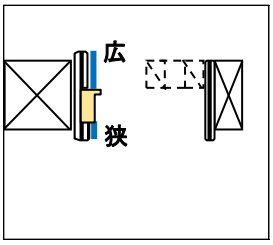
施工手順書2023/8初版

縦枠下地の取付

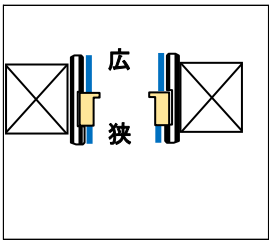
縦枠下地の取付向きを確認して、接着剤を塗布します。
（下地断面の狭い方が戸袋側で、壁厚の真ん中に取付けてください）

縦枠下地を壁厚(柱)の中央にあてレーザー等で立ちを見ながら、コー取付ビス(現場手配)で取付けてください。
※クロスで仕上げますのでビス頭の飛び出しは厳禁です。

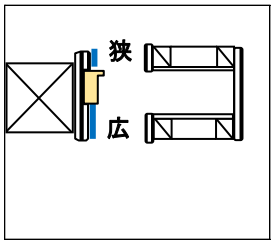
接着剤塗布



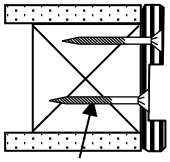
引き戸の場合



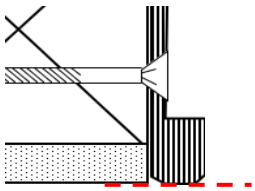
開き戸の場合



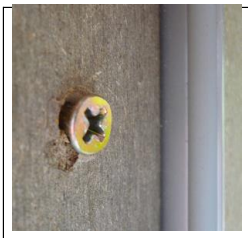
ポケット戸の場合



取付ビス



段差無し



取付ビス(現場手配)により枠を固定	縦枠下地の見込寸法は壁厚同等	調整ビス頭の飛び出し ×	○

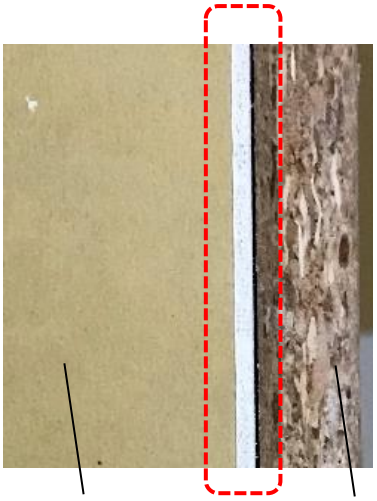
ポイント

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

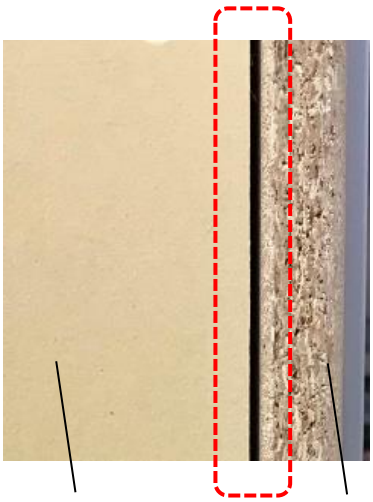
石膏ボードの取付け時の注意点

枠に突き付ける石膏ボードは面をとり、枠との間に隙間が出ないよう石膏ボードを取付けてください。

【注意事項】
クロスや塗り壁の仕上がりに影響がでる恐れがありますので必ず守ってください。



石膏ボード　**下地枠**



石膏ボード　**下地枠**

枠と石膏ボードの隙間無し	○	**枠と石膏ボードの隙間有り**	×
石膏ボードの面取有り	○	**石膏ボードの面取無し**	×

□シンプル巾木、インセット枠の取付

forインセット

施工手順書2023/8初版

シンプル巾木コーナー役物・取付け時の注意点

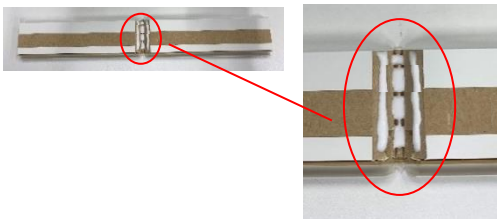
枠の取付・調整、及びクサビ、またはパッキンの固定が終わったら、巾木を接着剤で縦枠下地の下部の切欠き部分にはめ込むように取付けてください。

接着剤全面塗布
(推奨：酢ビ系)

幅木の取付け方

幅木の取付け方

幅木の取付け方



【注意】
幅木コーナー役物のＶカット部も接着剤を塗布してください。※塗布しないと割れ易くなります。

ポイント

※出荷時には、シンプル幅木の切欠き加工がされています。
高さ30㎜以上の巾木をご使用の場合は、現場で高さ方向の切り欠きを行ってください。
※厚さ７㎜を超える巾木(現場手配品)には対応しておりません。

インセット枠の取付

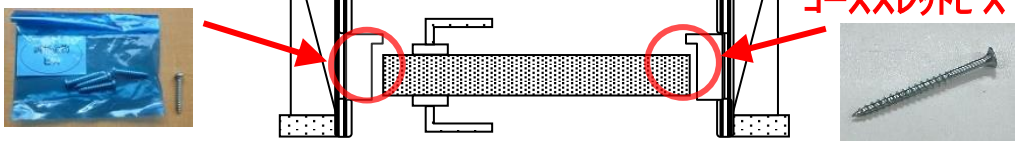
インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

【注意】
インセット枠はクロス仕上げ後に取付けてください。
※クロス施工に関しては「② クロス・塗り壁工事」の施工手順書をご覧ください。

しゃくり部分にインセット枠をはめ込む

同梱のMSビスで手動ドライバーで取付け固定する

<開き戸の場合>
吊元のインセット枠は同梱のコーススレッドビスで取付けてください。



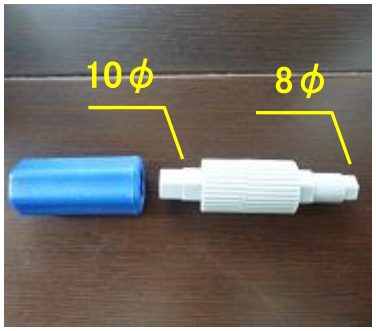
戸先側：MSビス
吊元側：コーススレッドビス

□インセット枠の調整

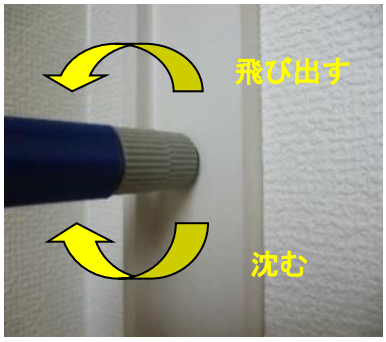
インセット枠の調整

枠内寸法を確認し、インセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。

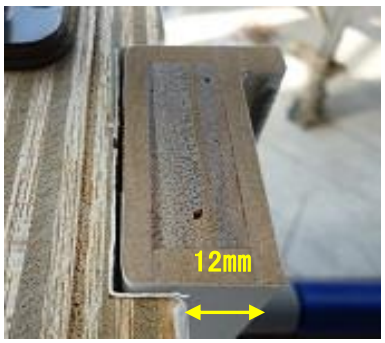
【注意事項】
片開き戸は戸先側のみの調整可能です。

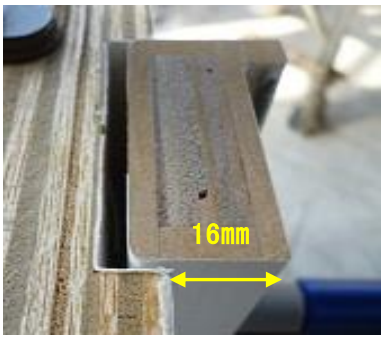
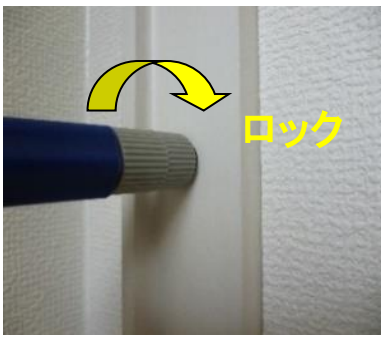


調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14㎜の設定ですので、12～16㎜の範囲で調整してください。(16㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)



【注意事項】
※枠出荷時にはロックが掛かっています。必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。
　(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)





調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。